

## 第52回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年1月25日（火）18：00～19：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB参加）

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所 所長（WEB参加）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授（WEB参加）

小谷野 和博 埼玉県中小企業団体中央会 会長（WEB参加）

近藤 嘉 日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長（WEB参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）

讃井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）

竹田 晋浩 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長（WEB参加）

三村 喜宏 埼玉県商工会連合会 会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

高田 直芳 教育長（WEB参加）

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB参加）

山崎 達也 福祉部長（WEB参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

板東 博之 産業労働部長（WEB参加）

岸本 剛 衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 現状の分析・評価について

- 新規陽性者数について、発生届や検査結果の遅着があると正確にその日の数かどうかがわからないので、できるだけ発症日をベースに必要な措置を講じていただきたい。（岡部委員）

### イ 福祉施設・学校における対応について

- 特に3学期ということ を考慮すると、学校において、コロナ感染者が出たことによって、直ちに全校閉鎖や地域ぐるみの閉鎖をするのではなく、学業継続とのバランスを議論した上で対応すべきである。（岡部委員）
- 子どもの感染者が急増している理由について、子どもの感染が非常に多い本来の風邪のコロナウイルスの性質が徐々に出てきているのではないかとということと、子どもに対するワクチン接種があまり行われていないことが重なったためと考察する。（川名委員）
- 学校や高齢者施設を見ると、これまでできていた基本的な対策ができなくなっている印象があるので、改めて基本的な対策について正確な情報を発信すべき。（坂木委員）

### ウ 感染急拡大時の外来診療の対応について

- 現時点では、国の事務連絡を適用できるほど外来医療がひっ迫しているとは言えない。（金井委員、川名委員）
- 国の事務連絡にある「感染急拡大時」の基準が分からないため、当面は国の基準が明確になるまで待つてからこの措置について行うべき。（委員一同）